

資料① 沖縄県卓球協会主催の大会実施における感染症対策ガイドライン

沖縄県卓球協会（令和2年7月3日）

1 基本的な感染症対策の徹底

- 手洗いやうがい、活動場所の除菌等の基本的な感染症予防対策を徹底する。

2 無観客での実施（監督もしくはコーチ以外でチーム引率者1人を認める。）

- 出場選手と監督（コーチ）チーム引率者以外の会場の立ち入りを禁止、会場内の密集状態を緩和する。
- 競技終了後は帰宅することとし、勝ち残った選手と監督・コーチ、チーム引率者以外の会場への立ち入りを禁止する。

3 開・閉会式の中止

- 開・閉会式を中止し、諸連絡は放送によって行う。表彰も個別に対応する。

4 換気の徹底

- 定期的に会場内の窓を開放し、換気を行いながら競技を行う。

5 試合のマナー（ダブルスの競技についても同様に対応する）

- 従来であれば、試合後に対戦相手、審判員、ベンチコーチとの握手を行うが、これを禁止とする。
- 大きな声やガッツポーズ等の禁止、卓球台に手汗を拭くことを禁止する。

6 手指の消毒及びマスク着用の徹底

- 会場出入り口と競技フロアー出入り口に消毒液を設置し、監督（コーチ）、選手、チーム引率者の手指の消毒を徹底する。
- 会場内でのマスク着用を徹底する。（試合中は外しても構わない）

7 大会参加者（監督（コーチ）、顧問、チーム引率者、出場選手）の健康状態チェック

- 各監督、チーム引率者の指導のもと、別紙様式②の健康状態報告書に記入し、提出してもらう。

8 団体戦・個人戦・ダブルス戦のアドバイザー及び人数の制限

- 競技フロアーの密集とセット間のアドバイス時の密接状態を避けるため、団体戦・個人戦・ダブルス戦のアドバイザーを監督もしくはコーチ（生徒も含め）のどちらかひとりとする。
- 密集を避けるため、団体戦登録メンバー以外の選手が競技フロアーに降りて審判を行うことを原則として禁止、相互審判や個人戦では敗者審判とし、競技フロアー内の人数を抑える。

9 ボールの交換

- 試合球を適宜消毒・交換し、感染予防に努める。